



【お問い合わせは】

0120-83-5021
本社営業部 03-3572-8511
伊勢丹新宿店 03-3358-9181
<https://www.sakuragolf.co.jp>



謹んで新春のお慶びを
申し上げます

佐川へすまふ

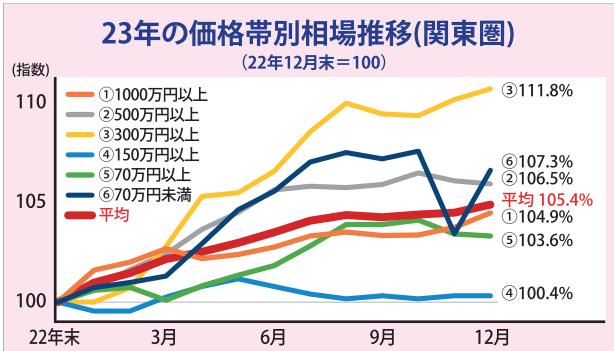


23年相場は続伸
24年も緩やかな上昇へ
24年相場は続伸

会員権相場の値上がりが続
いています。23年の関東圏平均
相場は年間で5.4%の値上がり
となりました。

コロナ禍で高まつたゴル
フ人気に伴つて20年6月か
ら始まつた相場の上昇基調
は一時的な調整局面を交
えながらも3年半に及び、
2023年の4年間で平均
相場の上昇は累計で21.1
%に達しています。

昨年5月に、新型コロナ
ウイルスの感染症法上の位
置づけが5類に引き下げら
れ、行動制限が緩和されま
した。それでもゴルフ人気
は衰えを知らず、前年と同
様の賑わいを見せました。
法人はやや鈍化ながら
も高額名門コースを、個人



~23年市場のポイント~

- 平均相場は年間5.4%の値上がりで上昇基調続く
- 値上がりは20~23年の4年間で21.1%にのぼる
- ゴルフ人気に伴う会員権需要の高まりが相場を下支え
- 23年は若年ゴルファーにも会員権購入の裾野広がる
- 昨年12月に相場反転、春高の予感。24年も緩やかな上昇へ
- 23年のゴルフ場入場者数は高水準な状態で推移
- 練習場のインドア施設が大都市圏を中心に大幅に増加
- ゴルフ用品市場規模が21年ぶりに3000億円に復帰
- 第3次ゴルフブームは5年目に突入、一段の環境整備で「国民・生涯スポーツ」としての歩みを

はゆとり層によるホームコー
スのクラスアップ需要に加え
て、若年層へ購入の裾野が広
がったことが大きな特徴です。
12月には相場が再上昇に転
じ、早くも春高の再現が予感
される状態になってきました。
既に各価格帯の人気コースや
法人専用のよみうりG、レイ
クウッドは品薄状態が続いて
います。

今年は、会員数が少なく予
約の取りやすいコースが脚光
を浴びるのではないかと予想
されています。ゴルフアッパー
相場は緩やかな上昇基調を
たどるものと予想されます。

全国41都道府県の判断分の
ゴルフ入場者は、21年以降3年
連続でコロナ前の19年を上回
り、23年も高水準を維持しま
した。こうした状況下でスター
ト予約が取りにくく状態にな
り、ビジターフェイの値上がりが
広がりつつあることがゴルフア
ーの会員志向を強めています。
また、ゴルフ練習場ではイン
ドア施設が東京など大都市圏
を中心にここ1年間で196
施設増加(前年比約15%増)
るなど、ゴルフが身近なス
ポーツとなつていることも
無視できません。

高まるゴルフ人気はゴル
フ用品の需要にも波及、ゴ
ルフ用品の需要にも波及、ゴ
ルフ用品の市場規模が21年ぶり
に合計で3000億円に復帰し
ました。コロナ禍で人気化したゴルフ
は第三次ゴルフブームを形成し、
今年でそのブームも5年目に
突入することになります。
このブームを一過性に終わ
ることなく、今後もゴルフ場
の一段の魅力づくり、入会しや
すい諸条件の見直しなどの積極
的な環境整備を通じて、ゴルフ
が「国民・生涯スポーツ」として
の歩みを続けることを期待して
止みません。

ゴルファーカイブ2023

ゴルフ場 入場者	全国41都道府県の延べ入場者数は1~10月間で4122.2万人。天候の悪化で前年同期比▲1.8%も、大幅に増加した21年(4100万人)を上回る。21~23年の3年間は連続でコロナ禍前の19年を大幅に超える水準。新型コロナの感染症法上の位置づけ緩和後もゴルフ人気が続く。スポーツ庁の調査では、運動・スポーツ参加率上位10項目中、ゴルフの増加率はトップクラス。
ゴルフ 練習場	インドア施設が大幅増加中。(社)全日本ゴルフ練習場連盟によるとここ1年間で196施設増加(14.8%増)し1518施設となった。東京を中心とした大都市圏での増加が目立つ。
関連市場	ブームがゴルフ用品にも波及。用品市場規模が21年ぶりに合計3000億円台復帰。ゴルフクラブ、ゴルフ用品、ゴルフボール、ゴルフウェアとも売上高増加。原材料高による商品値上げも寄与。
会員権 市場	法人の買いは前年よりやや鈍化したが安定した個人需要がカバー。法人は高額、個人は高額に加え中堅、お手頃コースの買いが増加。また、リゾートコース人気も定着。23年は30代と40代の入会者が増えたのが特徴。買い先行の需給状況を支えに関東圏平均相場も続伸、年間5.4%の値上がり。20年以降4年連続で相場上昇、この間の上昇率は21.1%にのぼる。
プロ ツアー	女子は相変わらず群雄割拠、若手の新星が毎年誕生し、20歳前後のプレーヤーがツアーやを牽引。男子は20代前半の若手プロが台頭、賞金ランキングの上位を占め、男子ゴルフにも明るい兆し。